



学校だより

令和6年4月30日(火)
第845号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

日進小学校の歴史

校長 野上 正嗣

始業式・入学式から3週間が過ぎ、子どもたちは新しい環境に少しずつ馴染みながら、伸び伸びと学校生活を送っています。新しい学級では係活動や当番など、それぞれの役割が決まり、仕事を覚え、みんなの協力による学級活動が動き出しました。

さらに17日には、1年生の給食も始まりました。担任の先生の話を一息懸命に聞き、頑張って準備ができました。自分たちで配膳し、初めて食べる小学校の給食に「おいしい」と言いながら楽しそうに食べる子がたくさんいました。幼稚園や保育園等で生活をしてきた子どもたちは、身に付けた力を学習場面や生活場面で発揮できるようになっています。

そして4月は、最上級生になった6年生の活躍が光りました。始業式前の4日に登校し、新年度の準備作業を手伝ってくれました。さらに入学式の翌日から1年生を昇降口や教室で出迎え、優しく声をかける姿に思いやりの気持ちが表れていました。クラブや委員会でも積極的に取り組む姿が大変頼もしく、これからの1年間がとても楽しみです。

4月19日は、日進小学校の152回目の開校記念日でした。開校記念日は休日ではありませんが、日進小学校の歴史を知ってもらい、先人の方々がこの地域の子どもたちを守り育ててきてくれたことへの感謝と新たな歴史を刻む一員としての自覚を高めるために2つのポイントに絞って、校長より「開校記念日朝会」として全校児童にお話をしました。

1つ目は、日進小の先覚者である高橋源之輔氏の存在です。教育への情熱があった高橋氏は私財を投じ、明治6年、上加学校の創設に尽力されました。正式には「第一大学区埼玉県管内第拾壺中学区足立郡大宮第百三拾七番小学」という長い校名でした。以後7度変わり、現在の「さいたま市立日進小学校」に至っています。日進小学校の開校・発展の礎を築いたその功労を讃えて、校庭に頌徳碑を立て校長室には肖像画を掲額しています。

2つ目は、日進小学校から分かれた学校がたくさんあることです。明治9年に100名だった児童数は右肩上がりに増え、昭和49年には2,200人余りとなり、それに伴い校舎の増築を重ねてきました。また昭和19年に大成小、昭和26年に日進北小と植竹小、昭和50年に宮前小、平成21年につばさ小へと多くの児童が移動しました。実に5校もの小学校が、日進小学校から生まれています。この周辺全ての小学校の母校と言えます。

さて、過日開催いたしました授業参観懇談会には、多くの保護者の皆様に御参加をいただき、誠にありがとうございました。またPTA役員選出とともに後日PTA新旧役員会が行われ、新体制組織の下、活動が活発になることと思います。PTA活動の旗振りや看板出しも含め、本校子どもたちのために、1年間よろしく願いいたします。

これから連休が続きます。保護者の皆様にはぜひ、御家族で有意義に過ごしていただき、慣れない環境で過ごした一か月のリフレッシュとたくさんの思い出作りを子どもたちにしていただけたら幸いです。